

## Ⅱ 社会参加・共生推進学習事業の概要

社会参加の機会が少ない市民を対象に、社会参加を促進するための支援学習を行った。外国人市民等（外国人市民や帰国した日本人市民）が日常生活に必要な日本語などを学ぶ識字学習活動、国語・数学などを中心に中学校課程の基礎的知識と教養を学ぶ社会人学級、障がいのある人の余暇活動と社会参加をめざす障がい者社会参加学習活動等の事業を各区の地域性を活かしながら実施した。



### 1 識字学習活動

識字学習活動は、外国人市民等が日本での生活を円滑に営めるように、日常生活に必要な基礎的日本語を身につける場であり、支援する場である。1985（昭和60）年から中原市民館で実施していた社会人学級の日本語科（夜間）を国際識字年である1990（平成2）年に識字学級として独立させ、さらに午前の学級を新たに開設した。その後、1992（平成4）年に麻生市民館、1993（平成5）年に教育文化会館田島分館、幸市民館で順次開設し、1996（平成8）年からは全市民館で実施されるようになった。各館では識字・日本語ボランティアが学習のみならず日常生活を支援している姿が見られる。学習者は異文化理解への協力者として地域（学校）などで活躍し、識字・日本語学級の意義を地域で広めている。なお、識字・日本語ボランティア活動にあたる人々の活動の指針となるガイドライン『川崎市識字・日本語学習活動の指針』（2003（平成15）年3月）が市民参加により策定され、活動のよりどころとなっている。

### 2 識字ボランティア研修

『川崎市識字・日本語学習活動の指針』『川崎市外国人教育基本方針－多文化共生の社会をめざして－』に基づき、識字（日本語）学級の学習者と支援者（ボランティア）の学び合う関係づくり、ボランティアの資質の向上、共に生きる地域社会の創造をめざして実施した。2010（平成22）年度も分館を除く全館で実施した。新しくボランティアになりたい人向けの入門研修とすでにボランティア活動を行っている人向けのブラッシュアップ研修を実施した。2004（平成16）年3月に川崎市識字学級研究開発委員会によりワークショップ（参加体験型学習）等の研修の試案が提案され、2006（平成18）年度から、南・中・北部の各地域単位での実践が始まっている。

### 3 社会人学級

中学校を卒業しているが、様々な事情で十分な学習ができなかった人を対象に、日常生活に必要な中学校課程の基礎的な知識、教養を学ぶ機会を提供するため、中原市民館で1982（昭和57）年に開設した。2002（平成14）年度から会場を教育文化会館に移して開設し、2015（平成27）年度も国語、数学、特別講座（英語、課外活動）の学習を行った。

## 4 障がい者社会参加学習活動

障がい（主に知的障がい）のある青年を対象に、社会参加に必要な知識・技能の向上を図り、地域の中で交流を深めることをめざして、1966（昭和41）年に産業文化会館（現教育文化会館）で初めて開設した。1998（平成10）年には、全市民館で実施されるようになったが、一部の館では、ボランティアスタッフの人数に対して参加希望者が多く、人数制限せざるを得ない状況にある。現状では、参加者自身が一人で通える場合に限定している館が多いが、精神に障がいがある人、重度や在宅の障がい者への学習提供のあり方や当事者の参画など課題は多い。

## 5 障がい者ボランティア研修

障がい者の理解やボランティア活動のあり方などの研修を行い、障がい者が学習する権利の保障と充実、障がい者の学習に関わるボランティアの人権意識の向上をめざして実施している。「障害者ボランティアリーダー研修」として1997（平成9）年度から開設した。全市の障がい者社会参加学習活動のボランティアを対象としている。

## Ⅱ 1 識字学習活動

### 教文（水曜日夜間コース）

開設期間	4月15日（水）～3月23日（水）19:00～20:30 合計40回			
ボランティア	日本語支援	27人	保育	2人
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴衣を着る会（7/1）参加者16人</li> <li>・サマーパーティー（7/12）参加者44人</li> <li>・交流イベント：防災講座（10/21）講師：川崎区役所危機管理担当職員 参加者50人</li> <li>・ウィンターパーティー（12/13）参加者64人</li> </ul>			

### 幸（水曜昼間コース）

開設期間	4月22日（水）～3月9日（水）10:00～11:30 合計33回			
ボランティア	日本語支援	16人	保育	7人（キャンディー）
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幸区健康福祉プラザにて交流イベント（7/8）参加者37人</li> <li>・救命救急講習（幸市民館内）（12/9）参加者31人</li> <li>・カタカナ練習</li> <li>・日本語学級、日本語ワールド、市民館担当で日本語学習課題協議</li> </ul>			

### 幸（木曜夜コース）

開設期間	4月23日（木）～3月17日（木）19:00～20:30 合計35回			
ボランティア	日本語支援	13人	保育	なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏イベント（7/9）太鼓と盆踊り 参加者17人</li> <li>・冬イベント（12/10）学習者スピーチ発表 お琴 レクリエーション 参加者25人</li> </ul>			

### 中原（火曜日昼間コース）

開設期間	4月21日（火）～3月8日（火）10:00～12:00 合計34回			
ボランティア	日本語支援	22人（ことばの木）	保育	16人（どんぐりの会）
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶話会（6/9）参加者26人</li> <li>・料理教室（10/13、20）参加者27人</li> <li>・お楽しみ会（12/8）参加者31人</li> <li>・文集作成（3月）</li> </ul>			

### 中原（火曜日夜間コース）

開設期間	4月14日（火）～3月8日（火）18:30～20:30 合計35回			
ボランティア	日本語支援	18人（はらっぱ）	保育	なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の交流会（7/14）浴衣体験、ゲーム、軽食 参加者36人</li> <li>・日帰りレクリエーション（11/1）キリンビール工場見学 参加者18人</li> <li>・料理教室（12/8）参加者34人</li> <li>・書初め（1月）</li> <li>・文集作成（3月）</li> </ul>			

### 高津（水曜日昼間コース）

開設期間	4月22日（水）～3月16日（水）10:00～11:30 合計35回			
ボランティア	日本語支援	17人（あいうえおの会）	保育	34人（高津保育ボランティア）
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東芝未来科学館での体験学習（7/8）参加者32人</li> <li>・自主研修会実施（11/18）講師：日本語講師 山形 美保子 参加者15人</li> <li>・忘年パーティ（12/9）ゲームと学習グループごとの出し物（歌・踊り） 参加者42人</li> <li>・料理会（3/9）各国料理と日本料理を作り・学び・味わう 参加者45人</li> <li>・文集作り 学習者・ボランティア・職員も参加 70冊</li> </ul>			

## 高津（木曜日夜間コース）

開設期間	4月16日（木）～3月17日（木）19:00～20:30 合計35回			
ボランティア	日本語支援	20人（三本木の会）	保育	8人（高津保育ボランティア）
事業事例	・1学期末交流パーティ（7/9）参加者48人 ・秋の課外イベント（11/14）「鎌倉めぐり」参加者30人 ・2学期末交流パーティ（12/10）参加者52人 ・3学期末交流パーティ（3/17）参加者47人			

## 宮前（金曜日昼間コース）

開設期間	4月17日（金）～3月11日（金）10:00～12:00 合計36回			
ボランティア	日本語支援	20人（宮前日本語ボランティアの会）	保育	7人（館保育ボランティア）
事業事例	・浴衣体験・七夕体験（6/26）参加者29人 ・市外国人市民代表者会議委員との懇談（7/3）参加者15人 ・1学期末交流パーティー（7/17）参加者20人 ・高尾山ハイキング（10/23）参加者29人 ※宮前日本語ボランティアの会主催 ・交流会（12/11）参加者58人 ※OB含む			

## 宮前（水曜日夜間コース）

開設期間	4月15日（水）～3月9日（水）19:00～20:30 合計34回			
ボランティア	日本語支援	11人（日本語ボランティア「コスモスの会」）	保育	なし
事業事例	・各学習日の終了後ミーティング ・歓迎会（4/15）参加者30人 ・浴衣体験・七夕体験（6/24）参加者18人 ・2学期末交流会（12/9）参加者23人 ・3学期末交流会（3/2）参加者28人			

## 多摩（水曜日昼間コース）

開設期間	4月8日（水）～3月9日（水）10:00～12:00 合計37回			
ボランティア	日本語支援	16人（多摩にほんごの会）	保育	5人（多摩保育グループ）
事業事例	・夏の体験 着る 食べる 浴衣と麺（7/8）参加者20人 ・忘年会（12/16）歌、ゲーム等 参加者15人			

## 多摩（金曜日夜間コース）

開設期間	4月17日（金）～3月4日（金）19:00～20:30 合計36回			
ボランティア	日本語支援	15人（たま語）	保育	なし
事業事例	・交流会（5/15）参加者32人 ・盆踊り教室（7/24）盆踊り、出しもの等 参加者24人 ・料理教室（10/16）太巻き、きのこ汁等 参加者29人 ・忘年会（12/11）ダンス、出しもの、ゲーム等 参加者30人 ・日本文化を学ぶ（2/19）茶道、琴等 参加者31人			

## 麻生（木曜日昼間コース）

開設期間	5月7日（木）～3月17日（木）10:00～11:30 合計33回			
ボランティア	日本語支援	22人	保育	7人（ジャンケンボン）
事業事例	・みんなで楽しくゲームしよう！Part 2（12/10）参加者38人 ・みんなで、結ぼう！包もう！（3/10）参加者42人			

## 麻生（木曜日夜間コース）

開設期間	5月7日（木）～3月17日（木）18:30～20:00 合計33回			
ボランティア	日本語支援	11人	保育	なし
事業事例	・お料理会 Part 1（7/16）参加者17人 ・クリスマス会（12/17）参加者19人 ・お料理会 Part 2（3/17）参加者17人			

# 学習者国別リスト

行	No.	出身国・地域	教文	幸		中原		高津		宮前		多摩		麻生		合計
			夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	
ア行	1	アイルランド						1								1
	2	アメリカ	1			3	5	1	2	4		1	2	4	3	26
	3	アルゼンチン														0
	4	イギリス	2		2	1	1	1		1	2					10
	5	イスラエル														0
	6	イタリア					1									1
	7	イラン							1							1
	8	インド	22		3	2	3		3	2		2		1	1	39
	9	インドネシア	3		1	3	2	1	10	8	5			2		35
	10	ウクライナ														0
	11	ウズベキスタン	1							1						2
	12	エクアドル	1													1
	13	オーストラリア							1				3	1		5
カ行	14	ガーナ													0	
	15	カナダ					1	2	1		1	1			6	
	16	韓国	3	5	3	7	3	4	1	7	4	6	2	2	1	48
	17	カンボジア		2												2
	18	ギニア														0
	19	キューバ					1									1
	20	ケニア														0
	21	コロンビア							1		1					2
	22	ジャマイカ							1	1	1		1			4
	23	シンガポール	1			2		1			1	1	2			8
サ行	24	スイス													0	
	25	スペイン	1		1	1	1					1			5	
	26	スリランカ				1	1	2			3	1	1	1	10	
	27	タイ	3	2	1			1	3	6	1	1		2		20
	28	台湾	1		3	15	12	8	5		9		4	4		61
	29	チュニジア														0
	30	中国	80	24	17	26	29	38	14	20	16	19	13	24	5	325
タ行	31	チリ				1									1	
	32	ドイツ	2				4	1		1			1	1	10	
	33	トルコ													0	
	34	日本	3	1	1				1		1					7
	35	ニュージーランド	1													1
	36	ネパール	8	1	1	3	7		5			3	3			31
ハ行	37	パキスタン						1	1		2	1	1		6	
	38	バングラデシュ	4	1			1	1			1		1		9	
	39	フィリピン	29	5	1	7	8	7	11	20	3	19	9	3		122
	40	フィンランド														0
	41	ブラジル		4		1		1				1	1	1		9
	42	フランス	1						2		1			1		5
	43	ベトナム	41	2	7	7	18	15	22	3	7	3	21	8	10	164
	44	ペルー	6	8	1	1		1	1					1		19
	45	ベルギー											1			1
	46	ボリビア	1	1		1										3
マ行	47	マレーシア	4				1		1	3	1	4	1		15	
	48	ミャンマー (ビルマ)							2						2	
	49	メキシコ							1						1	
	50	モロッコ				1					1				2	
	51	モンゴル	1			1	2									4
ラ行	52	ルーマニア	1												1	
	53	ロシア							4	2	1		2		9	
その他	54	フィジー	1												1	
	55	パラグアイ	1												1	
	56	タンザニア	1		1											2
	57	ラオス							1					1	1	3
	58	シリア							1					2		3
	59	オーストリア								1						1
	60	トルクメニスタン							1							1
	61	キルギス										1				1
	62	中央アフリカ										2	2			4
	63	リベリア											1			1
	64	ベナン													1	1
	65	ナイジェリア													2	2
	66	ポルトガル												1		1
	67	オランダ									1					1
	68	ニカラグア							1							1
	69	サウジアラビア									1					1
	70	セネガル									1					1
	71	エストニア								1						1
	72	ベネズエラ				1										1
	合計			224	56	43	85	101	91	90	83	61	70	71	66	22
参加延べ人数			1,344	604	368	1,335	1,440	825	978	858	409	680	553	592	164	10,150



## Ⅱ 1 <参考> ボランティア交流事業

### 地域日本語ネットワークのつどい

日時	平成 27 年 11 月 21 日 (土) 13:30 ~ 16:30
会場	教育文化会館 第 1 ~ 3 学習室
内容	<p>識字・日本語学習活動に関わるボランティアと職員が一堂に会し、地域にも呼びかけて、川崎市の識字・日本語学習活動のあり方等について協議する。</p> <p>地域日本語教育推進事業の一環として実施され、地域日本語連絡会（識字学習活動担当職員と、活動に関わるボランティアの連絡協議組織）が中心となって企画・運営にあたった。</p> <p>テーマ：(第 20 回) ワールド・カフェで考えよう 2「日本語学級とボランティア」 外国人市民の日本語学習のあり方や、ボランティアに期待される役割等について、「ワールドカフェ」の手法による話し合いで考え合う。</p> <p>①ワールド・カフェ part 1 進行:生涯学習推進課職員 なぜ地域で外国人の日本語学習を支えるのが市民のボランティアなのかをあらためて確認する。 ②基調講話「川崎の識字・日本語学級が生まれるまでと生まれてから ～ 社会教育の視点からの日本語教室 ～」 講師：元市民館職員（現・かわさき宙と緑の科学館館長）島田 秀雄 市民館の識字学級の立ち上げから関わってきた職員の話聞き、「川崎の識字」の特徴について理解する。 ③ワールド・カフェ part 2 ④まとめ、講師コメント</p>
参加者	62 人 (内訳:識字ボランティア 51 人、職員 9 人、その他 2 人)

### 地域日本語連絡会

回	月	日	曜	内 容	会 場
1	4	18	土	情報交換・報告事項 (新年度の事業開始状況等) FM出演当番の確認 平成 27 年度役割分担について等 出席 25 人	高津市民館 第 5 会議室
2	5	16	土	情報交換・報告事項 (各教室の状況、ボランティアの会費について、教材の保管と整理について等) 出席 20 人	高津市民館 第 4 会議室
3	6	20	土	情報交換・報告事項 (各教室の状況、クラスでの担当の決め方について等) ネットワークのつどい実行委員会 出席 21 人	中原市民館 第 3・4 会議室
4	7	18	土	情報交換・報告事項 (各教室の状況、学期末の行事等) ネットワークのつどい実行委員会 出席 24 人	高津市民館 第 4 会議室
5	8	15	土	情報交換・報告事項 (夏休み中の状況、文化庁日本語教育大会、マイナンバー制度について等) ネットワークのつどい実行委員会 出席 23 人	高津市民館 第 6 会議室
6	9	26	土	情報交換・報告事項 (休み明けの状況等) FM出演当番の確認 ネットワークのつどい実行委員会 出席 23 人	多摩市民館 第 1 会議室
7	10	17	土	情報交換・報告事項 (各教室の状況、年末の交流行事の計画、教室に来ている子どもへの対応等) ネットワークのつどい実行委員会 出席 19 人	麻生市民館 第 3 会議室
8	11	14	土	情報交換・報告事項 (各教室の状況、外出時の保険、日本語能力の把握とクラス替えについて等) ネットワークのつどい実行委員会 出席 21 人	高津市民館 第 6 会議室
9	12	19	土	情報交換・報告事項 (年末行事の実施状況等) 多文化共生社会推進指針の改定について 他 ネットワークのつどい実行委員会 出席 24 人	高津市民館 第 6 会議室
10	1	16	土	情報交換・報告事項 (年始の状況、教室に来ている保育対象以外の子どもの状況と対応について等) 出席 19 人	生涯学習プラザ 大会議室
11	2	20	土	情報交換・報告事項 (各教室の状況等) 出席 18 人	国際交流センター 団体活動ルーム
12	3	19	土	情報交換・報告事項 (年度末の状況等) 各団体での役員等の決め方について 次年度役割分担について 出席 16 人	中原市民館 第 2 会議室

## Ⅱ 2 識字ボランティア研修

### 教文 識字ボランティア研修(1)

タイトル：日本語ボランティア研修(1)

主 題：地域とのつながりを持つ日本語支援

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6	3	水	ボランティアとは何かを考える	オリエンテーション 「ボランティアとは何か」学ぶ	地域日本語教育 講師 吉田 聖子
2		10	水	識字の理念を知る	日本語識字ボランティアとは何かを学ぶ	法政大学 教授 山田 泉
3		16	火	外国人市民の立場から考える1	外国人市民とともにまち歩きを行い、生活上の困難を知る	外国人市民 拓殖大学日本語教育研究所 講師 大越 貴子
4		23	火	外国人市民の立場から考える2	異言語体験を行い、必要な支援の在り方を考える	外国人市民 大越 貴子
5		30	火	課題の共有	これまでの振り返りを行い、生活支援の仕方について考える	ふれあい館 館長 原 千代子
6	7	8	水	見学および学習活動の体験	実際の活動を見学・体験し、活動をスムーズに始める	職員 ボランティア
7		15	水			
8		29	木			
9	8	19	水			
10		26	水			
11	9	2	水			
12		9	水			

●開設場所 教育文化会館 他

●時間帯 火曜日 10:00～12:00 水曜日 18:30～20:30

●対象 関心のある方

●参加者数 16人(男4人、女12人) ●延べ人数 80人

### 教文 識字ボランティア研修(ブラッシュアップ)

タイトル：テキストの効果的な使用方法を学ぶ

主 題：日本語教育に関するテキストの具体的な活用方法等を知り、より効果的な学習が実践されるようにする

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2	12	日	テキストの効果的な使用方法を学ぶ	テキストの具体的な活用方法を学ぶ	拓殖大学留学生別科 日本語講師 大越 貴子

●開設場所 教育文化会館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 18人(男12人、女6人) ●延べ人数 18人

## 幸市民館 識字ボランティア入門研修（入門）

主 題：識字ボランティアとしての基礎を学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9	30	水	識字の学習の場について知る	識字学級の見学	職員
2	10	7	水		参加者の声を聴く	職員
3		14	水	多文化共生の考え方について学ぶ	識字の理念について	ふれあい館 館長 原 千代子
4		21	水		外国人市民の現状を知る	市民・こども局 人権男女共同参画室 職員
5		28	水		DSTによる外国人市民の映像公開上映会	DST研究所 須摩 修一
6	11	4	水	日本語ボランティアの役割と学習の進め方について	日本語ボランティアとはなにか？	T I J 東京日本語研究所 日本語教師 袴田 陽子
7		11	水		教材を使って学習する際のクラスの進め方	
8		18	水		まとめと振り返り	職員

●開設場所 幸市民館 ●時間帯 13:30 ~ 15:30

●対 象 関心のある方

●参加者数 7人（男2人、女5人）

●延べ人数 43人

## 幸市民館 識字ブラッシュアップ研修（昼）

主 題：より良い学習の場を提供するために

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	27	水	外国人への効果的な学習について	日本語初級者に対して効果的な学習について	T I J 東京日本語研究所 日本語教師 袴田 陽子

●開設場所 幸市民館 ●時間帯 13:30 ~ 15:30

●対 象 関心のある方

●参加者数 16人（男2人、女14人）

## 幸市民館 識字ブラッシュアップ研修（夜）

主 題：ボランティアのスキルアップ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6	19	水	日本語ボランティアの役割と学習の進め方について	ボランティアとして日本語の特徴の整理や自身の日本語について意識を高める	T I J 東京日本語研究所 日本語教師 袴田 陽子
2	9	17	水		日本語学習での効果的なサポートについて	
3	11	19	水			

●開設場所 幸市民館 ●時間帯 19:00 ~ 20:30

●対 象 関心のある方

●参加者数 13人（男5人、女8人）

●延べ人数 33人



## 中原 識字ボランティア研修（ブラッシュアップⅠ）

主 題：初めて日本語を学ぶ学習者への学習の進め方や学習方法を学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	19	火	識字ボランティアに期待される姿勢・能力とは何か考える	川崎市識字学習の指針に基づき、ボランティアに求められる姿勢・能力について学ぶ	にほんごの会企業組合 日本語教師 星美学園短期大学 非常勤講師 宿谷 和子
2		26	火	初めて日本語を学ぶ外国人市民に対する効果的な日本語学習の進め方を学ぶ	学級の進め方や学習者のニーズに合った学習の方法を学ぶ。特に、理解しづらい助詞や動詞、形容詞、「て」形の活用などの効果的な学習方法を学ぶ	
3	2	9	火			

- 開設場所 中原市民館
- 時間帯 13:30～15:30
- 対象 識字ボランティア及び関心のある方
- 参加者数 49人（男3人、女46人）
- 延べ人数 119人

## 中原 識字ボランティア研修（ブラッシュアップⅡ）

主 題：学習者の立場に立った識字学習活動の進め方について学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2	7	日	日本語学級におけるグループ学習の円滑な進め方を学ぶ	グループ分けのポイントとグループ内での円滑な学習の進め方について学ぶ	LTC友の会（杉並区のボランティア日本語の会） 副代表 山形 美保子
2		28	日		学習者が求め伝えたいと思っていることを引き出すコミュニケーション法を学ぶ	

- 開設場所 中原市民館
- 時間帯 10:00～12:00
- 対象 識字ボランティア及び関心のある方
- 参加者数 21人（男2人、女19人）
- 延べ人数 32人

## 高津 識字ボランティアブラッシュアップ研修Ⅰ

主 題：活動する上での疑問や不安を解消して自信を持って支援を行う

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9	16	水	日ごろの活動で感じている日本語学習支援についての疑問や不安を共有し、解決する	初級・中級学習者の指導方法・理解を促進させて定着させるおすすめ方①	TIJ 東京日本語研究所 日本語教師 袴田 陽子
2		30	水		初級・中級学習者の指導方法・理解を促進させて定着させるおすすめ方②	
3	2	10	水		初級・中級学習者の指導方法～コミュニケーションを円滑にする方法について	

- 開設場所 高津市民館
- 時間帯 14:00～16:00
- 対象 市民館の日本語ボランティア
- 参加者数 56人（男7人、女49人）
- 延べ人数 69人

## 高津 識字ボランティアブラッシュアップ研修Ⅱ

主 題：識字ボランティアとしてのスキルアップを図る

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11	1	日	日本語教室の現状と課題	各グループの課題を共有し、解決に向けた話し合いを行う	三本木の会 日本語ボランティアスタッフ
2	1	23	土	日本語教室における日本語教授法について理解する	動詞の活用、マス形からテ形・タ形・ナイ形	国士舘大学交換留学生日本語プログラムコーディネーター兼日本語講師 山形 美保子
3		30	土		教材の選び方、使い方(ビジネス編)小・中学生、高校生を受け入れた場合のクラス編成と進め方	

●開設場所 高津市民館

●時間帯 13:30～16:30

●対象 活動中の日本語ボランティア

●参加者数 22人(男9人、女13人)

●延べ人数 40人

## 宮前 識字ボランティアブラッシュアップ研修

主 題：ボランティアの資質向上、日本語学習支援の充実を目指す

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6	19	金	グループ学習の進め方を考える	日本語の助詞の機能、グループの雰囲気作りについて 他	日本語教師 袴田 陽子
2	10	9	金		入門・初級班におけるグループ学習での音声教材の使い方	

●開設場所 宮前市民館

●時間帯 14:00～16:00

●対象 関心のある方

●参加者数 20人(男4人、女16人)

●延べ人数 36人

## 宮前 識字ボランティアブラッシュアップ研修

主 題：識字ボランティアのスキルアップ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	8	1	土	識字ボランティアのスキルアップ	中級レベルの学習者への指導方法	(公社)日本語教育学会 人材育成コーディネーター 吉田 聖子
2	3	16	水		入門者の発音指導・文字指導をいつ・どのように行うか、漢字指導の方法 他	

●開設場所 宮前市民館

●時間帯 18:00～20:00

●対象 関心のある方

●参加者数 12人(男3人、女9人)

●延べ人数 22人

## 多摩 識字ボランティア研修

タイトル：識字ボランティア入門研修

主 題：識字ボランティアとしての活動に向けた研修

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12	2	水	川崎市の識字学習と識字ボランティアの活動	識字学級の理念と日本語ボランティアの活動内容について知る	職員 多摩にほんごの会ボランティア
2		4	金	多摩市民館の識字クラス	夜間クラスを見学し、午前クラスとの違いや識字ボランティア活動への理解を深める	職員 たま語ボランティア
3		9	水	識字ボランティアとしての心構え	識字（日本語）ボランティアとして活動していくために必要な役割・心構え等について学ぶ	かわさき市民活動センター 理事長 小倉 敬子
4		16	水	川崎市に住む外国人市民を取り巻く状況	川崎市で暮らす外国人市民の状況や日本での生活で抱えている課題を知り、必要な支援を考える	川崎市国際交流センター交流事業課 課長 中村 高明
5	1	13	水	川崎市の識字理念について	川崎市の識字指針を学び、市が目指す識字学習について知る	川崎市教育委員会生涯学習推進課 主任 岡崎 慎一
6		20	水	中間振り返りと識字学級の見学について	講座内容の振り返りを行い、識字学級見学のポイントなどについて学ぶ	人材育成プロジェクトコーディネーター 吉田 聖子
7		27	水	多摩区の日本語ボランティア活動について知る	各クラス・各グループごとに実際の活動を見学し、識字ボランティアがどのように活動しているのか知る	多摩にほんごの会ボランティア 職員
8		29	金			たま語ボランティア 職員
9	2	3	水			多摩にほんごの会ボランティア 職員
10		10	水	まとめと振り返り	研修を振り返り、地域における日本語学習支援について考える	吉田 聖子

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 10:00～12:00、14:00～16:00、18:30～20:30

●対象 関心のある方

●参加者数 14人（男5人、女9人） ●延べ人数 92人

## 麻生 識字ボランティア入門研修

主 題：あさおにほんごクラスでのボランティアに必要なことを学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6	4	木	地域で生活する外国人市民の生活を「日本語」を通して支援し、外国人市民と日本人市民が共に生きるという川崎の識字理念を身に付け、それを実践できるボランティアを育てる	ボランティアの役割と心構え、マナー、対等性を学ぶ	(公財)かわさき市民活動センター 理事長 小倉 敬子
2		11	木		外国人市民を取り巻く状況を知り、ボランティアとしてできることを考える	あさおにほんごすいようクラス 代表 滝澤 義忠 あさおにほんごクラス(朝) 学習者
3		18	木		川崎市の識字指針を学び、識字学習のあり方を考え、活動のイメージを膨らませる	生涯学習推進課 主任 岡崎 慎一
4		25	木		あさおにほんごクラスの見学	職員
5		25	木		見学を振り返り、どのような活動が必要かを考え活動のイメージを膨らませる	あさおにほんごクラス(朝・夜) ボランティア4名 職員
6	9	17	木		今後の活動についてグループ活動の視点から考える	人材育成コーディネーター 吉田 聖子

●開設場所 麻生市民館

●時間帯 14:00～16:00

●対象 麻生市民館で識字学習活動をしているボランティア

●参加者数 9人(男3人、女6人) ●延べ人数 73人

## 麻生 識字ボランティアブラッシュアップ研修

主 題：ボランティアのスキルアップを図り、活動に必要なことを学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	14	木	川崎市に住む外国人市民を取り巻く状況について知る	多様な生活をしている外国人の現状や課題について知り、必要な支援について考える	川崎市国際交流協会交流事業課 課長 中村 高明
2		21	木	多様な学習者に対応できるように、また、学習者が充実感を得られるための学習活動を考える	日本語の難しい表現を写真やイラスト等を活用して分かりやすく表現する方法を考える	人材育成コーディネーター 吉田 聖子
3	2	18	木		入門・初級グループでの日本語教授法についてのポイントを学ぶ	国士舘大学交換留学生日本語プログラムコーディネーター兼日本語講師 山形 美保子
4		25	木	中級・上級グループでの日本語教授法についてのポイントを学ぶ		
5	3	10	木	川崎市の識字理念について確認する	識字学習活動を振り返り、地域で日本語支援を行うことの意義を確認する	吉田 聖子

●開設場所 麻生市民館

●時間帯 14:00～16:00

●対象 麻生市民館で識字学習活動をしているボランティア

●参加者数 28人(男7人、女21人) ●延べ人数 113人

## Ⅱ 3 社会人学級

### 1. 趣 旨

中学校は卒業しているが、いろいろな事情で十分に学習できなかった人が、中学校初級程度の学力を身につけるとともに、学習の楽しさを知り、自分で学んでいける力を培うことをねらいとする。

### 2. 対 象

市内在住または在勤の15歳以上の方

### 3. 開催期間・時間

5月13日（水）～3月11日（金）18:30～20:30

### 4. 会 場 教育文化会館

### 5. 指導方針

原則として、国語・数学を中心に、週2回の学習で、いずれも中学校程度の学習を行なうが、学習者の学力・要望に応じて弾力的な学習展開を行なう。

### 6. 科目・内容・回数・講師

科目	主な学習内容	回数	講師・助言者など
国語	言語、詩、短歌、俳句、漢詩、随想、物語、論語、読書、輪読、作文、和歌、童話、漢字、文集作成	30	元教師 藤原 治子
数学	正の数・負の数、平方根の計算、文字式、2次方程式、因数分解、平面図形、空間図形、一次関数	30	元教師 清水 謙二
特別講座	英語 簡単な英会話を学ぶ	2	元教師 菊池 鐵也
	課外活動 ホームルーム:国語、数学のミニ講座のほか、これまでの学習を振り返り、交流を深める	1	職員 藤原 治子 清水 謙二

### 7. 受講者数

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男	0	0	0	1	1	1	4	1	8
女	0	0	1	1	1	7	9	2	21
計	0	0	1	2	2	8	13	3	29

### 8. 延べ人数 1,045人



## Ⅱ 4 障がい者社会参加活動

### 教文 障がい者社会参加活動（教文青年教室）

主 題：共に生きる地域社会を築くために

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	10	日	グループワークとコミュニケーション	自己紹介 地域の音楽団との交流	ボランティア アゼリア合奏団 in シニア
2	6	14	日	仲間との交流	料理作りを行う	ボランティア
3	7	5	日	地域との交流を深める	干潟館で自然と地域の方とのふれあい	NPO 法人多摩川干潟ネットワーク 理事 佐川 麻理子
4	9	13	日	つながりをつくる 1	マザー牧場で工作体験 動物とのふれあい	ボランティア
5	10	18	日	スポーツと仲間づくり 1	スポーツ交流会	ボランティア
6	11	14	土	つながりをつくる 2	ゴミ拾いのボランティア活動	NPO 法人グリーンバード川崎駅チーム 田村 寛之
7	12	13	日	コミュニケーションを深める	クリスマス会を行う	ボランティア
8	1	17	日	つながりをつくる 3	サークルと連携した教文スタンプラリー	東阿部流煎茶道会 ボランティア
9	2	14	日	スポーツと仲間づくり 2	ボーリング大会	ボランティア
10	3	13	日	1年間の学びへの気付き	1年の学びを振り返るアルバムづくり、 今年度関わった団体へ感謝状作り	ワークショップデザイナー 八住 敦之 平田 美鶴 エディトリアルデザイナー 山口 康子

●開設場所 教育文化会館 他

●時間帯 主に 10:00～13:00

●対象 養護学校、特別支援学級の卒業生

●参加者数 29人（男22人、女7人）

●延べ人数 222人

### 幸 サンデーフレンドパーク

主 題：障がい者の社会参加を促進する

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	17	日	障がいのある人たちがさまざまな活動を通して、社会参加に必要な基礎的な知識・技術の向上を図り、ボランティアなど地域の人たちと共に学べる機会を設け、地域社会における仲間づくりを図る	オリエンテーション、自己紹介	ボランティアスタッフ
2	6	14	日		カレー・ナンづくり（料理）	
3	7	26	日		航空博物館に遠足	
4	9	20	日		ポッチャ	川崎ポッチャクラブ 新橋 さち子
5	10	11	日		スポーツ（等々力アリーナ） ※中原、宮前と合同	ボランティアスタッフ
6	11	15	日		江戸東京博物館へ遠足	
7	12	20	日		クリスマス会 ※中原と合同	
8	1	17	日		餃子づくり（料理）	
9	2	21	日		バスハイク	
10	3	20	日		終了式	

●開設場所 幸市民館

●時間帯 主に 9:30～16:30

●対象 主に知的障がいのある人

●参加者数 10人（男8人、女2人）

●延べ人数 50人

## 中原 ヤングジャンプセミナー

主 題：学びを通じて仲間との交流を深める

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	4	19	日	事業趣旨の理解と仲間作り	オリエンテーション・自己紹介 室内レクリエーション	ボランティアスタッフ
2	5	17	日	集団行動を通じての学び	遠足①鎌倉	
3	6	21	日	集団行動を通じての学び	バスハイク① 油壺マリンパーク	
4	7	26	日	ものづくりへの関心を深める	午前：合宿の話し合い 午後：立食パーティー	
5	9	26 27	土 日	集団生活を通じての学び	合宿（青少年の家） レクリエーション 他	
6	10	11	日	運動を通じての健康づくり	スポーツを楽しむ（とどろきアリーナ） ※幸・宮前市民館との合同プログラム	ボランティアスタッフ 職員 とどろきアリーナ職員 日本フロアホッケー連盟
7	11	15	日	集団内のコミュニケーションを通じての学び	午前：料理 午後：クリスマス会の話し合い	栄養士 米井 智子 ボランティアスタッフ
8	12	20	日	共同作業を通じての学び	クリスマス会（料理、ゲーム、飾りつけ）※幸市民館との合同プログラム	ボランティアスタッフ
9	1	17	日	集団行動を通じての学び	バスハイク② アサヒビール神奈川工場	
10	2	14	日	集団行動を通じての学び	遠足②横浜・みなとみらい	
11	3	20	日	振り返りと来年度への展望	まとめ・振り返り	

●開設場所 中原市民館 他

●時間帯 主に9:30～14:00

●対象 障がいのある方

●参加者数 27人（男17人、女10人）

●延べ人数 281人

## 高津 ふれんど高津

主 題：地域のみならずともに学ぼう！

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	24	日	参加者同士が知り合う	自己紹介 グループ決め	ボランティアスタッフ
2	6	28	日	近隣施設の見学を通じた学び	東急バス高津営業所見学	
3	7	26	日	課外での集団行動を通じた学び	バスハイク①（生命の星・地球博物館）	
4	9	27	日	課外でのスポーツ体験を通じた学び	スポーツ大会 （中央支援学校）	
5	10	25	日	音楽を通して親睦を深める	みんなで音楽を楽しむ会	
6	11	22	日	課外での集団行動を通じた学び	バスハイク②（みかん狩りと大船フラワーセンター）	
7	12	20	日	共同作業を通じた学び	クリスマス会（飾り付け、ビンゴ大会等）	
8	1	24	日	ダンスを踊る楽しさを体験する	みんなでダンスを楽しもう！	
9	2	28	日	料理を通して親睦を深める	料理実習	
10	3	27	日	1年間の振り返り	一年間の振り返り 修了式	

●開設場所 高津市民館 他

●時間帯 主に10:00～14:00

●対象 主に区内在住の知的障がいのある方

●参加者数 30人（男20人、女10人）

●延べ人数 267人

## 宮前 みやまえウインズ

主 題：ノーマライゼーションの理念に基づく地域社会の実現を目指す

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	10	日	いろいろな体験を通じて 余暇活動の充実を図ると ともに、仲間やサポ ーターとのつながりあいを 深める	話し合い（自己紹介、リーダー選挙、 グループ決め、年間計画について）	ボランティアスタッフ
2	6	14	日		工作（折り紙・紙飛行機作り）・野 外レクリエーション	
3	7	12	日		バスハイク（東京ドイツ村）	
4	9	13	日		缶バッジ作り、屋内レクリエーション	
5	10	11	日		スポーツ体験（幸市民館・中原市民 館のメンバーと交流）	ボランティアスタッフ とどろきアリーナ職員 日本フロアホッケー連盟
6	11	8	日		工作（ビー玉落としの製作）	ボランティアスタッフ 楽々タクミ 13（木工サークル）
7	12	13	日		クリスマス会	ボランティアスタッフ
8	1	10	日		バスハイク（県立生命の星・地球博 物館、かまぼこ博物館）	
9	2	14	日		海外の山登りに関する講演、今年 の目標の発表	ボランティアスタッフ
10	3	13	日		修了式	ボランティアスタッフ おやじバンド
課 外	8	23	日	地域課題対応事業「夏休み子どもあ そびランド」へボランティアとして 参加	ボランティアスタッフ	

- 開設場所 宮前市民館 他
- 時間帯 10:00～15:00
- 対 象 区内在住・在勤の知的障がいのある方
- 参加者数 22人（男15人、女7人）
- 延べ人数 188人

## 多摩 青年教室

主 題：地域の仲間と充実した社会生活を！

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	23	土	年間をとおした団体活動 をすることで、参加者同 士の仲間づくりを図る。 また、地域の人や様々な 分野の専門家からの指導 や交流をとおして、地域 社会への関わりを促す場 とする	オリエンテーション	ボランティアスタッフ
2	6	27	土		アート体験① ウォールジオラマ作り	画家 與倉 豪
3	7	25	土		アート体験② ウォールジオラマ作り	
4	9	12	土		秋の交流会	ボランティアスタッフ
5	10	17	土		バスハイク① 東京都江戸東京博物館、旧安田庭園	
6	11	21	土		バスハイク② こんにやくパーク	
7	12	12	土		料理体験① ピザ作り	
8	1	16	土		新年会	ボランティアスタッフ パントマイム指導者 稲田 穰
9	2	20	土		料理体験② タイ料理作り	ボランティアスタッフ 世界のひろば 仲田 シリワン
10	3	19	土		一年間の活動の振り返り	ボランティアスタッフ

- 開設場所 多摩市民館 他
- 時間帯 主に10:00～15:00
- 対 象 区内在住、在勤の障がいのある方
- 参加者数 38人（男22人、女16人）
- 延べ人数 301人

## 麻生 麻生青年教室

主 題：地域の仲間と共に余暇活動を楽しもう

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	17	日	仲間とボランティアとの新しい発見・体験・出会いが得られる場となることをめざす 地域での体験活動や交流等の学習機会を提供することを通して、障がいのある人の社会参加促進を図る	開講式・リズム遊び	(NPO) わになろう会麻生 管理責任者 小幡 久美子
2	6	21	日		ボウリング大会・料理	ボランティアスタッフ
3	7	26	日		手作りおもちゃ	おもちゃと遊びの会 代表 吉田 幸雄
4	9	20	日		カラオケ・料理	ボランティアスタッフ
5	10	25	日		バーベキュー	
6	11	22	日		ハイキング（多摩動物公園）	
7	12	20	日		クリスマス会	
8	1	16	日		餅つき準備	
9		17	日		餅つき	
10	2	21	日		バスハイク（新江ノ島水族館）	
11	3	20	日		閉講式・音楽会	(一社) ソーシャル・アーティスト・ネットワーク 代表 江口 義実

●開設場所 麻生市民館 他

●時間帯 主に 10:00～15:00

●対象 主に知的障がいのある方

●参加者数 32人（男25人、女7人）

●延べ人数 278人

## Ⅱ 5 障がい者ボランティア研修

### 生涯学習推進課 障がい者社会参加学習活動ボランティア研修

主 題：知的障がい・発達障がいの人の意思・決定をどう支援するか

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10	31	土	障がい理解を学ぶとともに、市内7館の特色ある事業の交流を通して新たな視点・気づきを促し、職員・ボランティアのスキルアップを図る	知的障がい・発達障がいの人の意思・決定をどう支援するか ～意思がわかりづらい人への意思決定支援とは～	社会福祉法人あおぞら共生会副理事長・一般社団法人川崎市自閉症協会代表理事 明石 洋子

●開設場所 高津市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 障がい者社会参加学習活動のボランティア及び職員

●参加者数 18人（男5人、女13人）

